通信ともに
第70号
2019年4月12日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚

雪解けが進みますように～大豆殻まき*1

３月19日撮影

コミュニティカフェ わっくわく　営業時間を延長しました

平日　午前10時から午後５時まで
（午後4時30分ラストオーダー）

４月１日から、コミュニティカフェわっくわくの営業時間を延長しています。

３年前の開店以来、おかげさまでたくさんの方に利用していただいています。一方で午後３時までの営業時間を延長してほしいというご要望もたくさんいただきました。それにお応えして、今年度から延長営業実現の運びとなりました。

なおランチ営業はこれまで通り午前11時から午後２時までです。夕方のひととき、静かな空間で飲みものとケーキをぜひお楽しみください。みなさまのご来店をお待ちしております。

*1豪雪地帯倶知安は融雪剤をまくのが初春の風物詩。自然栽培のため同じ畑で昨年収穫した豆の殻を乾かしてまいています。

合同チームで見事優勝～Juntos芽室遠征

３月９日、芽室町で開かれた「ソーシャルフットボールサポーターズカップin十勝」に当事者チーム「K.S.C. Juntos」とサポートチーム「K.S.C. Juntos United」の合同チームとして参加し、チーム対抗戦で見事優勝しました。

午前中はリベルダージ北海道（北海道代表の合同チーム）の活動報告があり、午後からチーム対抗戦をおこないました。

参加した６チーム総当たりで対戦し、右上表のとおり全勝でした。その後混合チームで交流戦をし、フットサルを心から楽しみました。

今年度もさらに勝利を目指して毎週火・金曜日午後６時３０分から練習をしています。ただいま当事者部員を募集しています。また練習試合での対戦チーム（一般チームも歓迎です）も探していますので、チームを作っている方、チームを知っている方はお気軽に情報をお寄せください。

今年度も6月のチャンピオンズカップへの参加、秋のともにカップ開催を予定しています。ソーシャルフットボール、そしてK.S.C. Juntosの活動をよろしくお願いいたします。

K.S.C. Juntos United　今回の戦績		
対アユターレM（帯広市）	２－０	○
対United Hearts（名寄市）	３－２	○
対リベルダージA（札幌市）	３－０	○
対アユターレS（帯広市）	３－１	○
対リベルダージB（札幌市）	２－０	○
５勝０分０敗　１位		

精神科医　土田正一郎の

その58　嘘

嘘が見えるメガネがあると、外来診察室はかなり視界不良になるだろう。だからそんなものは発明されないほうが良い。きっと事実ではないだろうなと思いながら、話を聞きながら過ごしていることも時にある。

余裕のある時は、嘘をつかなければならないその人の悲しさや切なさに想いを馳せることもできるが、いつもそういう状態でいられないことがつらい。でも私の仕事は、その嘘を暴くことではない。それだけはできている。

ともに顧問（自称）

各事業報告～3月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
契約／移行２人、B型19人
見学／4人、体験／０人

グループホーム よろこび
利用者　19人（定員22人）
見学／０人、体験／1人

◆法人会員　正会員20人、賛助会員　団体4　個人84人
◆30年度寄付金　のべ17人　1,151,075円
◆寄付物品　　牛乳パック

編集後記

先月は通信ともにを発行できず、大変申し訳ありません。２ヵ月ぶりの発行となりましたことをお許しください。新元号「令和*4」に代わっても私たちの理念は変わらず住みやすい地域を目指します。新年度もご協力をよろしくお願いいたします（かわさき）

*4５月からの「令和」は２４８番目の元号です。最長は「昭和」の62年、最短は西暦１２３８年の「暦仁」でたった5カ月（北海道新聞より）

だはしみ まめちしき

*2この事業にはほかにも岩内町の「ベーカリーサンライズ」さん、共和町の「前田の家」さんなどが参加しています。

働きやすさとは？～就労支援部会

今回の「就労支援に関する研修会」は、生活協同組合コープさっぽろ人事本部で障がい者採用と支援を担当している奈良岡司（ならおかつかさ）さんを講師にお招きし、障がい者雇用管理と、これまでの課題や対処方法について、実際の事例を用いてお話しして頂きました。

コープさっぽろはグループ全体で多くの障がい者雇用実績があり、その比率は国で定められている法定雇用率を上回っています。奈良岡さんは前職のハローワーク勤務経験を活かし、障がいのある方を企業に送り出す側や、企業として障がい者を採用する側の両方の視点から話をされていたので、参加された皆さんは真剣に話に聞き入っていました。

お話しの中で印象に残っていることは「障がいのある人がその能力を発揮するために職場環境をどう整えていくのか？　その人の障がい特性を上司だけでなくパートさんなど、その人と直接関わる他の従業員に伝え、把握してもらうために支援機関との連携が大事である」ということです。

従業員に障がい特性の理解と指示方法の検討をしてもらう一方、就労支援機関には生活面のサポートや就労定着支援をお願いするという相互連携が必要だとも。また障がい者が働きやすい環境を作っていくことは、障がい者だけでなく一般従業員の働きやすい環境作りにもつながっているそうです。

奈良岡さんは、彼らが自立し独立した生計を立てられるよう、戦力となる人に契約社員へ登用するための支援をしています。そのためにも現場の職員（特にパートさんなど転勤がない人）にはその特性を理解し、働きやすいような指示をしてほしいと話していました。（かみよ）

振興局販売　今年度も続けます！

昨年4月に撮影

平成30年度販売実績

販売回数	16回
コロッケ販売個数	696個
クッキー販売袋数	94袋
売り上げ合計	69,160円

※袋入りソース（一袋20円）売り上げは除く

毎月第１と第３の週の木曜日に、後志総合振興局１階ロビーで「授産製品販売事業*2」に参加し、コロッケやクッキーを販売しています。３月１４日に平成30年度の販売を終えることができました。たくさんの方に買っていただき、ご支持いただきました。本当にありがとうございました。

調理部利用者も販売を経験し、袋詰めや釣り銭渡しが回を重ねるほどスムーズになりました。売り上げが伸びるたびに喜んで、また販売作業をしたいと話しています。

今年度も販売を継続することが決まり、4月は4日に発売し完売。次回は１８日に販売いたします。今後も多くの方にご賞味いただけるよう商品開発と製造に努めますので、よろしくお願いいたします。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

今年度の各部計画まとまる

調理部　夏季メニューを開発中

カフェ営業時間を延長することで、利用者の作業時間、作業内容を充実させます。またマナーなどの事業所内研修をおこないます。

さらに夏に合った新メニューを現在開発中です。今年度も誰でも入りやすく、居心地の良い「開けたカフェ」にしていきます。

農業部　自然栽培をさらに進めます

今年も農作物の栽培、除雪作業を通して基礎体力の向上と共同作業を通した連帯感を養うことを目標にしています。

自然栽培を進め、農薬、除草剤、肥料を一切使いません（畑の余ったスペースに、えん麦やひまわりなど多少の緑肥をおこないます）。

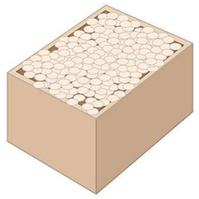
今年植えるおもな作物*3

じゃがいも（さやあかね）

かぼちゃ

ミニトマト

にんにく



白大豆

そのほか…
にんじん
ズッキーニ
花豆
小豆
など

製造部　さらなる商品の開発を

着物のリメイク雑貨や編み物などをベースに製作、販売をすすめます。また数年先をみすえた商品開発をおこない、さらに売り上げ増を目指します。

委託販売先
Ki Nisekoさま（倶知安町字山田）
元気ショップさま（札幌市大通地下通路）
元気ショップいこ～るさま（札幌駅西口）
ホテルようていさま（倶知安町）
コミュニティカフェわっくわく店頭

だはしみ まめちしき

*3収穫物はコープさっぽろ倶知安店「ご近所野菜」コーナーで販売するほか、コミュニティカフェわっくわくのランチでも活用しています。